

堺市こころの健康センター所報

第 9 号

(平成26年度実績)

堺市こころの健康センター

はじめに

平成 26 年度は当センターにおける各専門相談の件数が前年度から増えました。特に薬物専門相談の件数が劇的に増え、昨年度世間を騒がせた危険ドラッグの乱用や依存に関する相談が多くを占めました。平成 27 年度に入ってから取り締まりなどにより、危険ドラッグに関する相談は減少傾向にありますが、覚せい剤に関する相談などは以前と変わりなく続いております。薬物依存は本人のモラルの問題と捉えられがちですが、客観的に診断できる脳の病気です。この病気の治療には、精神科の投薬治療や違法薬物の使用中止だけでは難しく、専門の心理教育プログラムなどが必要になります。薬物事犯者に関しましては、平成 28 年 6 月に施行される刑の一部執行猶予が始まり、対象者が執行猶予期間に保護観察所等で実施される治療回復プログラムへの参加が義務付けられます。堺市内には薬物治療の専門医療機関がないため、当センターでも地域の精神保健福祉センターとして、執行猶予終了後の対象者のフォローなど、大阪保護観察所堺支部と協力関係を構築していくことが決まっております。平成 27 年度より依存症治療が盛んな公益財団法人復光会垂水病院から遠藤晃治医師を医長として迎え、着実に当センターの相談体制を整えております。

また、ひきこもり専門相談では相談件数が 4644 件と増え続けておりますが、当センターが対象者の最終的な居場所とはならないので、次にサポートが受けられる場所や居場所のニーズが高まっております。堺市内の地域活動支援センターや堺市ユースサポートセンターなどとも連携を図りながら、引き続きニーズに応えられるように体制を整えていきたいと考えております。

精神医療審査会につきましては、平成 26 年度は精神保健福祉法の改正に対応するため合議体を 1 体増やして 3 合議体で審査を行う体制とし、1 合議体あたりの審査の負担を減らすことでより適切な審査を行えるように努めてまいりました。

当センターへの期待や役割はますます多様化しており、市民の皆様の期待に応えられるよう引き続き努力して参りますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 27 年 9 月

堺市こころの健康センター
所長 木内 邦明

目 次

はじめに	1
I 堺市こころの健康センターの概要	
1 施設	3
2 組織と職員数	5
II 事業概要と業務実績	
1 専門相談・診療事業	6
2 教育研修事業	13
3 普及啓発事業	17
4 技術支援事業	20
5 組織育成事業	23
6 精神医療審査会・自立支援医療（精神通院医療）及び 精神障害者保健福祉手帳の判定	24
7 調査研究事業	26

【略語注釈】

Dr＝医師、CP＝臨床心理技術者、PHN＝保健師、PSW＝精神保健福祉士

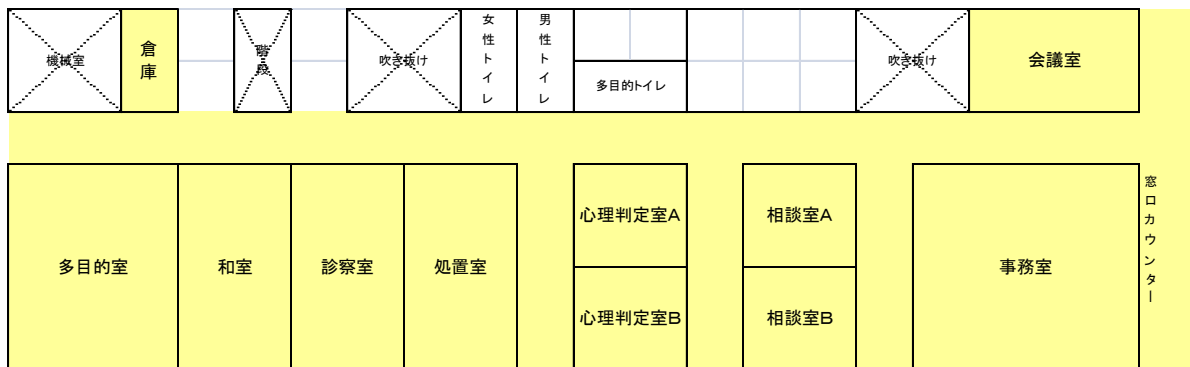
I 堺市こころの健康センターの概要

1 施設

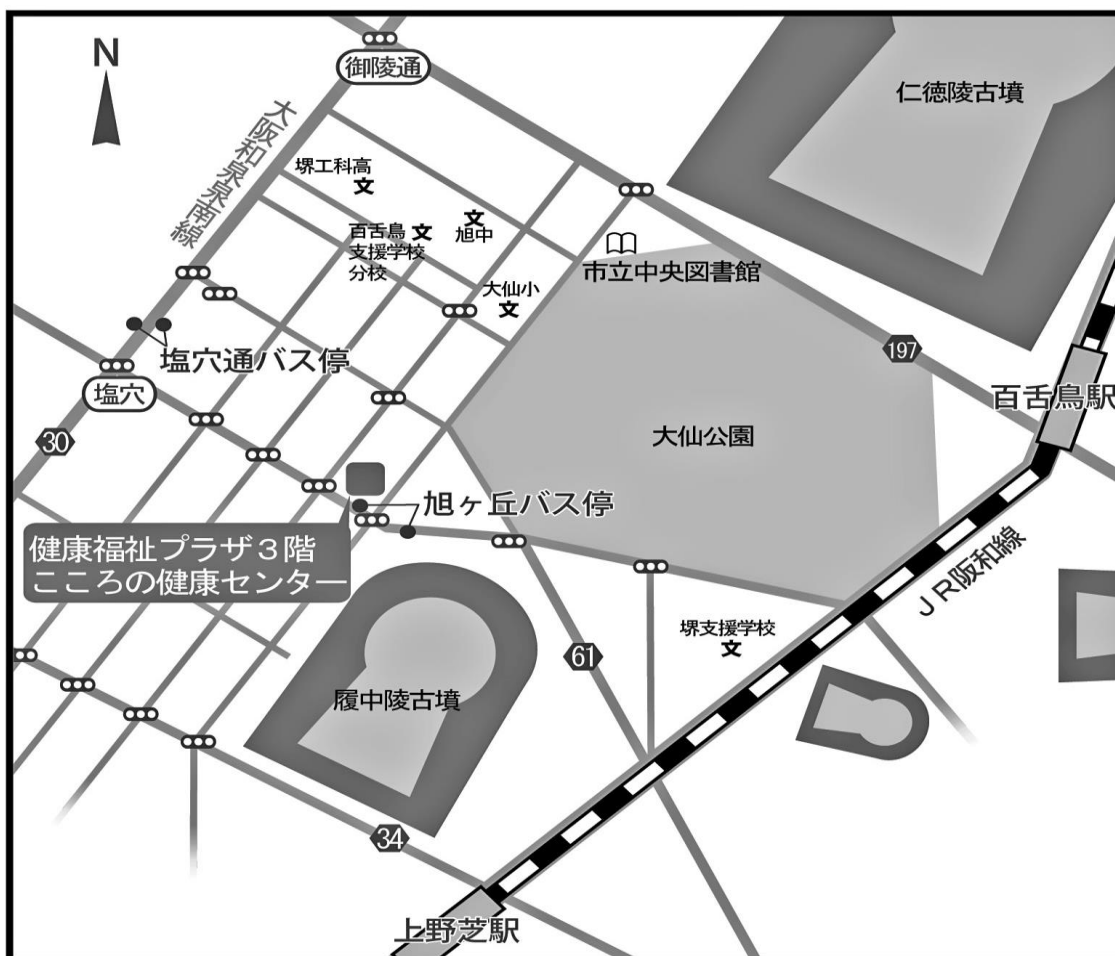
1-1 外観



1-2 平面図



1-3 所在地



〔住所〕〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ3階

〔電話〕072-245-9192 〔FAX〕072-241-0005

072-243-5500 (ころの電話相談)

072-241-0880 (ひきこもり電話相談)

〔アクセス〕JR阪和線「百舌鳥」駅下車 西へ1.4km

JR阪和線「上野芝」駅下車 北西へ1.3km

南海バス「堺東」駅より(泉ヶ丘駅行)乗車、「旭ヶ丘」バス停下車すぐ

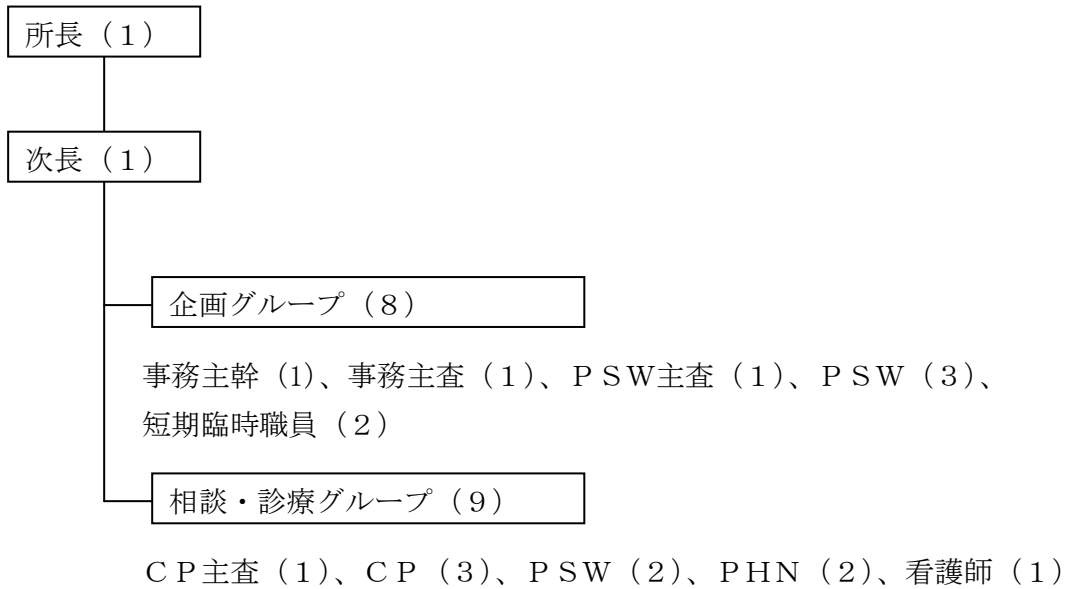
南海バス(西区役所前行など)乗車「塩穴通」バス停下車 南東へ500m

1-4 開設

開設年月日 平成18年4月1日

2 組織と職員数

2-1 組織（平成26年4月1日現在）



2-2 職種別職員数（平成26年4月1日現在）

	Dr	PSW	CP	PHN	看護師	事務職
所長	1					
次長		1				
企画		4 内非常勤職員 2				4 内短期臨時職員 2
相談・診療		2 内非常勤職員 1	4 内非常勤職員 2	2	1 内非常勤職員 1	

電話相談員・・・14名（当番制）

非常勤嘱託Dr・・・2名

Ⅱ 事業概要と業務実績

1 専門相談・診療事業

1-1 専門相談の概要

精神保健及び精神障害者の福祉に関する相談及び指導のうち、複雑または困難な事例に対する相談業務を行った。(表 1-1)

(表 1-1) 専門相談 利用者数

		延べ件数	実数
合 計		6418	788
再 掲	ひきこもり	4644	337
	薬物依存症	827	87
	自死遺族	200	33
	その他	747	331

1-2 ひきこもり (ひきこもり地域支援センター)

平成 23 年度に当センター内に設置された「ひきこもり地域支援センター (成人期)」の活動として、市民に対する講演会や、ホームページ・リーフレット等を使った啓発を行った。また、「ひきこもり相談電話」を設置し、利便性を高め、より広く市民からの相談に応じた。各関係機関のネットワークを構築し、支援体制の整備を行った。

さらに、平成 26 年度からは、ひきこもりサポーター養成・派遣事業として、ひきこもり経験のある当事者に対して、「ユース・ピアサポーター養成講座」を実施し、登録したサポーターを各種ひきこもり支援に活用した。

1) 相談支援及びグループワーク等

ひきこもり状態にある本人およびその家族や関係者に対して相談支援を行った。対象は、おおむね 15 歳以上で、自宅以外での生活の場が失われている状態にあり、あきらかな精神疾患の存在が認められない本人及び家族・関係者とした。電話、来所面接、家庭訪問、所外相談 (同行等)、手紙、メール等の方法により実施した。(表 1-2-1)

また、ひきこもり相談を利用している家族を対象に、ひきこもりに関する学びの場とする家族教室と、家族同士の交流の場としての家族交流会を実施した。(表 1-2-2)

さらに、ひきこもり相談を利用している本人を対象とした各種グループワークを実施した。(表 1-2-3)

(表 1-2-1) ひきこもり相談 相談形態別 (延べ件数)

電話	来所相談	家庭訪問	所外	手紙	メール	合計
1835	2101	124	129	107	348	4644

(表 1-2-2) ひきこもり家族教室・交流会 利用状況

内 容	実施回数	利用者延数
家族教室 (コミュニケーション講座、当事者体験談、 家族体験談、ライフプランセミナー等)	8	106
家族交流会 (家族が交流し支えあう場)	7	44
合 計	15	150

(表 1-2-3) ひきこもり本人向けグループワーク 利用状況

内 容	実施回数	利用者延数
体験 (ボランティア等の体験をする)	10	73
講座 (さまざまな講義を聴く)	8	70
スポーツ (身体を動かす)	16	173
調理 (調理を通じて交流する)	6	43
クラフト (創作活動をする)	6	46
女性 (女性限定グループ)	6	21
居場所 (フリースペースで過ごす)	16	34
緑化活動 (緑化センターでのボランティア活動)	7	45
サポーター研修・ミーティング (サポーター活動)	19	128
サポーター企画グループ (ピアサポーターによる企画)	8	107
その他 (映画鑑賞など)	5	14
合 計	107	754

2) ユース・ピアサポーター活動

ひきこもりサポーター養成・派遣事業として、ひきこもり経験のある当事者を対象に「ユース・ピアサポーター養成講座」を実施し、講座修了者を各種ひきこもり支援事業に活用した。具体的にはひきこもり経験を生かした活動として、個別相談の補助、グループワークの企画、家族教室等での体験談の講師として活用した。

ユース・ピアサポーター登録者 11名

活動回数 延べ156回

3) 教育研修、職員派遣

ひきこもり支援関係機関の職員を対象に、ひきこもり支援の技術を向上させることを目的として研修を実施した。(表 1-2-4)

また、関係機関等の求めに応じ、研修会等に職員を派遣した。(表 1-2-5)

(表 1-2-4) ひきこもり研修 実施実績

実施日	内 容	講 師	参加人数
2/26	ひきこもりからの就労支援 対人関係に課題のある発達障害 者等の事例が働くまで	エマリス堺 館野 菜津子 氏 アンダンテ就労ステーション 谷奥 大地 氏 当センター CP	23
合 計		1 回	23 人

(表 1-2-5) ひきこもりに係る職員派遣等 実績

実施日	内 容	対 象	派遣職員	参加人数
5/2	ひきこもりの若者の現状と支援	校区自治連合会 代表等	CP	91
10/29	ひきこもりの支援について	発達障害家族会	CP	8
11/27	ひきこもり相談について	堺区生活援護課	CP、PSW	25
1/14	ひきこもり相談支援機関と高齢者 支援機関との連携について	基幹型包括支援 センター等	CP	20
2/17	ひきこもり相談支援機関と高齢者 支援機関との連携について	基幹型包括支援 センター等	CP	23
2/24	ひきこもり支援について	西区 主任児童委員長会	CP	10
合 計		6 回	177 人	

4) 普及啓発

ひきこもりで悩む本人や家族が孤立し、問題が長期化・重症化しないよう、市民に対する講演会を開催した。(表 1-2-5)

(表 1-2-5) ひきこもりに係る普及啓発 実施実績

実施日	内 容	講 師	参加人数
1/10 (土)	斎藤環のひきこもり講演会 ひきこもりの“今”と家族の関わり	筑波大学教授 斎藤 環 氏	227
合 計		1 回	227 人

5) その他（技術支援、会議参加等）

関係機関とのネットワークを構築し、ひきこもり支援を推進するため、各種の会議に積極的に参加して情報共有等を図ると共に、ひきこもり地域支援センターの専門性を生かした技術支援等を行った。（表 1-2-5）

（表 1-2-5） ひきこもりに係る技術支援、会議参加等実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
ひきこもり支援	ひきこもり地域支援センター 全国連絡協議会	協議会への出席	2
子ども若者支援	子ども若者支援地域協議会 (子ども家庭課)	協議会への出席	1
		代表者会議 実務者会議	2
合 計		5 回	

1-3 薬物依存症

1) 相談支援及びグループワーク等

覚せい剤、麻薬等の違法薬物や危険ドラッグ等の依存の問題で困っている本人及び家族等に対して相談支援を行った。個別の状況に応じた支援、および精神科医による相談（月1回程度）を実施した。（表 1-3-1）

また、薬物依存症で困っている家族を対象に、薬物問題の正しい理解とその対応について学ぶことを目的とした家族教室を実施した。（表 1-3-2）

さらに、薬物依存症相談の利用者を対象に、再発予防を目的としたグループワークを実施した。（表 1-3-3）

（表 1-3-1） 薬物依存症相談 主な相談対象薬物別（延べ件数）

覚せい剤	麻薬	大麻	有機溶剤	危険ドラッグ	処方薬	その他	合計
335	1	3	17	433	7	31	827

（表 1-3-2） 薬物依存症家族教室 利用状況

内 容	実施回数	利用者延数
当センター実施	8	154
大阪府こころの健康総合センター及び大阪保護観察所との共催	8	24
合 計	16	178

(表 1-3-3) 薬物依存症グループワーク 利用状況

内 容	実施回数	利用者延数
再発予防を目的とした集団活動	14	16
合 計	14	16

2) 教育研修、職員派遣

関係機関等の求めに応じ、研修会等に職員を派遣した。(表 1-3-4)

(表 1-3-4) 薬物依存症に係る職員派遣実績

実施日	内 容	対 象	派遣職員	参加人数
9/1	ブリーフ・インターベンション、 薬物依存等	南保健センター	PHN	16
12/12	薬物依存相談について	堺区生活援護課	CP、PSW	25
2/2	薬物依存	東保健センター 養護教諭等	CP	20
2/6	薬物依存	北保健センター 養護教諭等	CP	28
2/12	薬物依存	ちぬが丘保健センター 養護教諭等	PHN	17
3/16	薬物依存	堺保健センター 養護教諭等	PHN	12
合 計		6回 118人		

4) その他(技術支援、会議参加等)

関係機関とのネットワークを構築し、薬物依存症支援を推進するため、各種の会議に積極的に参加して情報共有等を図ると共に、当センターの専門性を生かした技術支援等を行った。
(表 1-3-5)

(表 1-3-5) 薬物依存症に係る技術支援、会議参加等実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
薬物依存症支援	大阪府薬物依存症対策推進会議	会議への出席	1
薬物依存症支援	近畿地区薬物中毒対策連絡会議	会議への出席	1
薬物依存症支援	大阪府麻薬覚せい剤等対策本部 乱用依存症者対策部会	部会への出席	1
薬物依存症支援	大阪府堺市保健医療協議会	協議会への出席	1
合 計		4回	

1-4 自死遺族

1) 相談支援等

大切な人を自殺で亡くした遺族等を対象に、個別の状況に応じた支援、および臨床心理士による心理カウンセリング（月2回程度）を実施した。

自死遺族相談実績（再掲） 実数 33 人（延べ 200 件）

うち臨床心理士による相談 26 回、実数 10 人（延べ 34 件）

2) 教育研修、職員派遣

関係機関等の求めに応じ、研修会等に職員を派遣した。（表 1-4-1）

（表 1-4-1） 自死に係る職員派遣実績

実施日	内 容	対 象	派遣職員	参加人数
11/18	自死の理解について	市職員	Dr、CP	6
合 計		1 回 6 人		

3) その他（技術支援、会議参加等）

関係機関とのネットワークを構築し、自死遺族支援を推進するため、各種の会議に積極的に参加して情報共有等を図ると共に、当センターの専門性を生かした技術支援等を行った。

（表 1-3-5）

（表 1-3-5） 自死に係る技術支援、会議参加等実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
自殺対策	自殺対策に係る各種会議 (精神保健課)	連絡懇話会への出席	2
		庁内委員会への出席	2
		事例検討会議への出席	12
自殺対策	街頭キャンペーン (精神保健課)	キャンペーンへの出務	2
合 計		18 回	

1-5 専門外来診療事業

公的医療機関として一般精神科では対応困難な症例について、特定外来診療を予約制で行った。（表 1-5）

専門外来診療 実数 15 人（延べ 27 件）

(表 1-5) 診断分類

広汎性発達障害	その他	合計
4	11	15

1-6 こころの電話相談

こころの病に対する偏見は依然として強く、適切な精神科医療機関及び相談機関に関する情報は充分ではない状況に対して、電話の利便性の高さや匿名性を生かし、よりスムーズな医療・相談機関等の情報提供を行うとともに、精神障害者の生活相談に即応することを目的として、電話相談を実施した。(表 1-6-1)、(表 1-6-2)。

なお、平成 24 年 9 月より全国こころの健康統一ダイヤル(0570-064-556)に常時加入した。

専用回線(1回線)により、有資格者の電話相談員が土・日・祝日・年末年始を除く 9:00～12:30、13:30～17:00 に対応した。

また、電話相談における常連通話者(リピーター)や困難事例への対応の検討、及び相談技術の向上、社会資源の情報の更新等を目的に、電話相談員のフォローアップ研修及び交流会を実施した。

相談日 244 日

相談件数 2673 件

2 教育研修事業

2-1 新任者研修

堺市内の精神保健福祉関係機関における実務経験が概ね1年未満の職員を対象に、精神障害に関する基礎的な知識と基本的な技術の習得を目的として研修を行った。(表 2-1-1)

また、新たな取り組みとして、新任者研修受講者を対象に、フォローアップ研修を行った。(表 2-1-2)

(表 2-1-1) 新任者研修 実施実績

実施日	5/20～23 (1回、4日間)
内容 (講師)	<ul style="list-style-type: none"> ・堺市精神保健福祉の流れ (精神保健福祉士) ・堺市の障害者相談支援体制 (精神保健福祉士) ・当事者が望む支援 (精神障害のある当事者) ・家族会の思いと家族会活動 (家族会) ・ヘルパー支援から見えてきたもの (ヘルパー事業者) ・精神疾患の基礎知識 (精神科医) ・精神保健福祉の領域で用いる相談技法 (臨床心理技術者) ・見学実習、報告会 【実習先】浅香山病院A館デイケア、浅香山病院デイケアサロン、 アンダンテ、しののめハウス、四季彩 ・援助職のストレスケア (臨床心理技術者)
参加人数	25人 (延べ100人)

(表 2-1-2) 新任者フォローアップ研修 実施実績

実施日	3/6 (1回)
内容 (講師)	<ul style="list-style-type: none"> 【1部】事例検討 (臨床心理技術者、精神保健福祉士) 【2部】情報交換及び交流会
参加人数	13人

2-2 現任者研修

精神保健福祉関係機関の職員を対象に、精神障害者支援の技術を向上させることを目的として、研修を実施した。(表 2-2)

(表 2-2) 現任者研修 実施実績

実施日	内 容	講 師	参加人数
7/30	日中活動の場だからできること	公益財団法人浅香山病院 百田 功 氏 山崎 勢津子 氏	17
7/31	精神科薬物療法の基礎知識 【基礎編】【応用編】	三重県立こころの医療センター 中村 友喜 氏	70
10/7	電話相談の基本的な理解	関西福祉科学大学 都村 尚子 氏	36
10/21	思春期の家族支援	堺市教育センター 萩 昌子 氏	12
11/6	高齢期の精神疾患	当センター Dr (所長)	65
合 計		5 回 200 人	

※専門相談に係るものについては前掲 (1回 23人)。

2-3 相談員研修

保健センターの精神保健福祉相談員 (採用 6 年目以下) を対象に、ケースワーク技術の向上、相談員間の情報共有と連携を図るため、事例検討研修を実施した。(表 2-3-1)

また、新たな取組みとして、同精神保健福祉相談員 (採用 7 年目以上 13 年目以下) を対象に、中堅研修を実施した。(表 2-3-2)

(表 2-3-1) 相談員研修 (採用 6 年目以下) 実施実績

実施日	5/16、6/20、7/18、8/15、10/17、11/21、12/19、2/20、3/20 (9回)
内 容	事例検討
参加人数	延べ 68 人

(表 2-3-2) 相談員研修 (採用 7 年目以上 13 年目以下) 実施実績

実施日	①9/19、②1/16 (2回)
内 容	①「薬物依存症者およびその家族への支援等」に関する講義及び検討 ②「中堅相談員としての在り方等」に関する検討
参加人数	延べ 15 人

2-4 職員派遣

庁内関係各課、精神保健福祉関係機関や精神保健福祉に関心のある団体等の求めに応じ、研修会等に職員を派遣した。(表 2-4-1) (表 2-4-2)

(表 2-4-1) 職員派遣実績 (庁内)

実施日	内 容	対 象	派遣職員	参加人数
4/2	公務員基礎研修 メンタルヘルス	市職員	CP	165
4/2	公務員基礎研修 メンタルヘルス	市職員 (任期付)	CP	28
4/11	精神保健福祉 基本の「き」	市職員 (障害支援区分認定調査員等)	PSW	9
1/29	メンタルヘルス向上	市職員 (南区役所)	CP	20
合 計		4 回 222 人		

※専門相談に係るものについては前掲 (8 回 149 人)。

(表 2-4-2) 職員派遣実績 (庁外)

実施日	内 容	対 象	派遣職員	参加人数
5/29	改正精神保健福祉法に関する行政説明	府内地域移行支援関係機関	PSW	51
8/7	認知症について	ちぬが丘診療所	Dr	30
8/27	メンタルヘルスについて	南区内の指定相談支援事業者等	CP	14
9/5	地域移行に係る院内勉強会 (障害者地域移行体制整備事業)	阪南病院	PSW	15
10/3	思春期のメンタルヘルスと関わり方	堺西高校	CP	30
10/30	地域移行に係る院内説明会 (障害者地域移行体制整備事業)	金岡中央病院	PSW	50
11/15	精神障害の特性と精神障害のある方を理解する	市民後見人養成講座	PSW	30
11/28	障害者虐待防止法 専門機関の関わりについて	大阪市平野区地域自立支援協議会	PSW	55
12/1	中学校へのメンタルヘルス教育	養護教諭等	CP、PSW	8
1/18	精神障害の特性と精神障害のある方を理解する	障がい者スポーツ指導者養成講習会	PSW	46
2/5	精神障害者ホームヘルプサービス 堺市の「複合援助」の成り立ち	居宅介護事業者 現任者研修	PSW	60
2/16	かかりつけ医うつ病対応力向上	堺市医師会	Dr	68
3/14	精神障害の理解について	ボランティア研修 (市民交流センター)	PSW	38
合 計		13 回 495 人		

※専門相談に係るものについては前掲 (5 回 152 人)。

※参加人数は、正確な値が分からなかった一部のものについて概数表示

2-5 学生実習

医科大学生及び精神保健福祉士実習生について、受け入れの調整を行った。(表 2-5)

その他、社会福祉士実習生について、他部局で実施されるプログラムへの協力（講師派遣等）を行った。

(表 2-5) 学生実習受入実績

学校名等	実習場所	受入人数
奈良県立医科大学	当センター等	6
大阪保健福祉専門学校	当センター及び中保健センター等	1
日本メディカル福祉専門学校	当センター及び東保健センター等	1
合 計		8 人

2-6 その他研修等

前記以外の研修として、当センター職員が受講した研修の伝達等を行った。(表 2-6)

その他、関係機関や大学からの視察や見学等の受け入れ等を行った。

(表 2-6) その他研修 主な実施実績

実施日	内 容	講 師	参加人数
7/3 7/23	心理職研修	(事例検討)	4 4
9/27	うつ病の認知療法・認知行動療法 研修会（大阪府・大阪市との共催）	国立精神・神経医療研修センター 認知行動療法センター 大野 裕 氏 大阪大学保健センター 工藤 喬 氏 大阪府こころの健康総合センター 北内 京子 氏	81
3/10	伝達研修	当センター CP (3名)	26
合 計		4 回	115 人

3 普及啓発事業

3-1 精神保健福祉セミナー

広く市民に精神保健福祉に関する正しい知識の普及・啓発を行い、こころの健康についての関心を促すことによって、ノーマライゼーションの理念の実現を図り、こころ豊かなまちづくりを市民の側から進めるきっかけとすることを目的として企画開催した。企画・運営は、市内関係各機関で構成された実行委員会により実施した。(表 3-1)

(表 3-1) 精神保健福祉セミナー開催実績

名 称	第 21 回堺市精神保健福祉セミナー 「当事者が元気で！ ～ありのままの姿でいいんじゃないの?!～」
開催日	11/24 (土)
場 所	関西大学堺キャンパス B棟 3階 302 教室
主 催	堺市精神保健福祉セミナー実行委員会
内 容	・講演『精神科産業医から見たうつ病 ～復職が成功する時のポイント～』 松村ストレスクリニック 院長 松村 一矢 氏 ・当事者による座談会 ・作品展示
参加者	142 人

3-2 ハッスル運動会 (堺市精神障害者地域交流運動会)

堺市内の医療機関もしくは社会復帰施設等を利用する精神障害者やその家族、関係機関の職員及びボランティアを含めた市民等が相互に交流することにより、精神障害者への理解を深め、精神障害者の社会参加を促進するとともに、地域のネットワークづくりの構築を推進することを目的として開催した。

(表 3-2) ハッスル運動会 (堺市精神障害者地域交流運動会) 開催実績

名 称	第 26 回堺市精神障害者地域交流運動会
開催日	10/16
場 所	J-GREEN 堺 (堺市立サッカーナショナルトレーニングセンター) 屋根付フットサルコート
主 催	堺市精神障害者地域交流運動会実行委員会
協 力 (順不同)	大阪いずみ市民生活協同組合、(株)神戸屋堺工場、堺ヤクルト販売(株)、 東燃ゼネラルグループ労働組合堺支部
参加者	530 人 (31 団体、メンバー：329 名、スタッフ等：201 名)

3-3 家族講演会

精神障害者の家族を対象に精神障害についての研修を行い、家族の不安を軽減するとともに、交流の機会を設け、孤立を防止することを目的として、精神障害者家族講演会を開催した。

(表 3-3) 家族講演会実績

実施日	内 容	講 師	参加人数
6/28	障がい者のための財産管理と相続 ～親亡き後の相続・遺言を知ろう～	平野・實意司法書士行政書士事務所 平野 次郎 氏	65
9/20	発達障害を知り、理解する ～その特性とかかわりについて～	医療法人杏和会 阪南病院 吉川 征延 氏	88
3/7	精神疾患の基本的理解 ～さまざまな精神疾患について～	当センター 木内 邦明 (所長)	69
合 計		3 回	222 人

3-4 出前講座

「どこでもセミナー～堺市生涯学習まちづくり出前講座～」として、諸団体からの要請を受けて講師を派遣し、こころの健康づくりに関する知識の普及・啓発を行った。(表 3-4)

(表 3-4) 出前講座実績

内 容	回 数	参加人数
こころの健康講座 ～ストレスと上手につきあうコツ～	14	延べ 592
簡単うつ病講座 ～身近なうつ病、気づいていますか？～	4	延べ 111
合 計	18	延べ 703 人

3-5 機関誌の発行

堺市こころの健康センター通信（機関誌『こころ♡さかい』）を発行し、市内の各図書館、区役所の市政情報コーナーなどに配架した。(表 3-5)

(表 3-5) 「こころ♡さかい」発行実績

通算	発行月	主な内容	発行部数
第 20 号	9 月	認知症	3000
第 21 号	3 月	アルコール健康障害	3000

3-6 啓発冊子の作成

精神的健康の増進、精神疾患に対する正しい知識の普及を目的として冊子を作成し、各区の保健センターへ配架した他、講演会、イベント等で配布した。(表 3-6)

(表 3-6) 啓発冊子発行実績

名称	発行部数
アルコール依存症とは	5000
うつ病ってなに？	2500

3-7 ホームページ

精神障害者に対する支援制度、利用可能な資源、精神疾患に関する知識、研修会、講演会等の開催情報など、当センターのホームページに掲載した。

URL : <http://www.city.sakai.lg.jp/kenko/kenko/hokencenter/kenkocenter/index.html>

4 技術支援事業

4-1 保健センターへの技術支援

市内各区の保健センターに対して、所内研修への参加呼びかけ（2回、延3人）、その他技術支援（1回）を行った。

4-2 個別支援及び各種事業への技術支援等

関係機関とのネットワークを構築し、精神保健福祉を推進するため、各種の会議に積極的に参加して情報共有等を図ると共に、当センターの専門性を生かした技術支援等を行った。

（表 4-2-1） 個別支援に係る技術支援実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
心神喪失者等 医療観察	大阪保護観察所等	ケア会議への出席	35
障害者虐待防止	障害施策推進課	虐待コア会議への出席等 対応に係る助言等	63 1
合 計		99 回	

※専門相談に係るものについては前掲（12回）。

(表 4-2-2) 各種事業協力(会議出席等)に係る技術支援(庁内)

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
障害者支援	相談支援関係者会議 (障害施策推進課)	会議への出席	1
障害者支援 (日常生活用具)	品目等検討庁内委員会 (障害者支援課)	会議への出席	1
障害者支援 (地域移行)	退院促進支援会議等 (障害施策推進課)	会議への出席等 その他技術支援	15 2
アルコール依存症 支援	関係者調整会議 (精神保健課等)	会議への出席	2
精神保健福祉	精神保健福祉業務連絡調整会議 (精神保健課)	会議への出席等	12
精神保健福祉	精神科病院実地指導等 (精神保健課)	実地指導立会い等 その他	5 15
高齢者支援	認知症ケアシステム懇話会 (高齢施策推進課)	懇話会への出席(事務局)	5
生活困窮者自立支援	生活困窮者自立支援の在り方検討会議 (生活援護管理課)	会議への出席	1
健康さかい 21	健康さかい 21 庁内連絡会 (健康医療推進課)	連絡会への出席	1
障害者支援	障害者施策推進協議会幹事会 (障害施策推進課)	会議への出席	2
障害者支援	障害者施策推進協議会 発達障害者支援専門部会 (子ども家庭課)	会議への出席	1
合 計		63 回	

※専門相談に係るものについては前掲(9回)。

(表 4-2-3) 各種事業協力(会議出席等)に係る技術支援(庁外)

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
心神喪失者等 医療観察	医療観察制度運営連絡協議会 合同事例検討会等 (大阪保護観察所)	協議会への出席	4
		検討会への出席等	1
権利擁護支援	日常生活自立支援事業契約締結審査会 (堺市社会福祉協議会)	審査会への出席	5
障害者支援 (高次脳機能障害)	高次脳機能障害支援ネットワーク会議 (生活リハビリテーションセンター)	会議への出席	1
障害者支援 (自立支援協議会)	堺市障害者自立支援協議会	市協議会への出席等	3
		専門部会への出席等区	4
		協議会への出席等	43
		区協議会への助言等	3
アルコール依存症 支援	四者懇談会等(断酒会等)	四者懇談会への出席	1
		その他	2
障害者支援 (就労支援)	就業・生活支援センター運営協議会 (就業・生活支援センター)	協議会への出席	1
産業保健	産業保健活動推進協議会 (堺労働基準監督署)	会議への出席	1
障害者支援 (発達障害者)	発達障害者支援センター連絡協議会 (発達障害者支援センター)	協議会への出席	1
精神保健福祉	精神科医療機関療養環境検討協議会	協議会への出席	5
障害者支援 (ピアサポーター)	堺精神障害者ピアサポーター養成講座 (市民交流センター)	検討会議	8
		シンポジウムでの登壇	1
合 計		84 回	

※専門相談に係るものについては前掲(6回)。

5 組織育成事業

市民の精神保健福祉の向上を図るために、地域住民による組織活動等に対して支援を行った。(表5)

(表5) 組織育成事業 主な実績

対 象	内 容	回数
家族会	運営に係る相談、会合出席等	4
医療機関等(各協会等)	会合出席等	11
断酒会	会合出席等	4
その他	その他	2
合 計		21回

6 精神医療審査会・自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定

6-1 精神医療審査会

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、精神医療審査会事務局を設置し、精神医療審査会を開催している。合議体は3合議体で、合計32回（A合議体12回、B合議体12回、C合議体9回）開催した。また、審査会（全体会）を、1回開催した。

また、全国精神医療審査会連絡協議会等に参加した。

（表 6-1-1） 審査委員内訳

委員	人数
精神保健指定医	8
弁護士	3
学識経験者	4
合 計	15人

（表 6-1-2） 退院・処遇改善請求審査

請求等区分	入院形態	請求件数	審査件数	審査結果内訳			
				退院請求		処遇改善請求	
				棄却	容認	棄却	容認
退院	医療保護	30	16	15	1		
	措置	2	1	0	1		
退院 及び 処遇改善	医療保護	6	3	2	1	2	1
	措置	0	0	0		0	0
処遇改善	医療保護	3	2			2	0
	措置	1	0			0	0
	任意	1	1			1	0
合 計		43	23	17	2	5	1

※平成26年度受理分を計上（一部、平成27年度繰越により完了したものを含む）。

※請求電話受電等件数は、667件。

(表 6-1-3) 入院届・定期病状報告審査

書類区分	審査件数	審査結果内訳(詳細)	
		適当	不適当
医療保護入院届	2599	2597	2
医療保護入院定期病状報告書	943	943	0
措置入院定期病状報告書	10	9	1
合 計	3552	3550	2

6-2 自立支援医療(精神通院医療)及び精神障害者保健福祉手帳の判定

1) 自立支援医療(精神通院)支給判定業務

自立支援医療(精神通院)支給にかかる診断書の判定業務を行った。

(表 6-2-1) 自立支援医療(精神通院)判定件数

判定	件数
承認	5799
不承認	3
合計	5802

2) 精神障害者保健福祉手帳判定業務

精神障害者保健福祉手帳の申請にかかる診断書の判定業務を行った。

(表 6-2-2) 精神障害者保健福祉手帳判定件数

判定	件数
承認	2521
不承認	36
合計	2557

7 調査研究

7-1 紀要

当センター研究紀要（第7号）を発行した。（表7-1）

（表7-1） 紀要（第7号）掲載論文

論題
平成25年度堺市こころの健康センターの薬物相談における来所者の背景について
堺市「いのちの応援係」による自殺未遂者対策の現状について -第3報-
堺市こころの健康センターにおける自死遺族相談事例の背景の分析 -平成20～25年度の受理事例について-

7-2 その他発表等

前記以外の調査研究として、活動報告の発表等を行った。（表7-2）

（表7-2） 研究発表等 実績

実施日	学会等	内 容	職員
12/4	ひきこもり地域支援センター 全国連絡協議会	堺市こころの健康センターにおける ひきこもり集団支援 ～サカイ式すべらないグループワーク (S.S.G.)について～	CP
合 計		1 回	

堺市こころの健康センター所報 第9号（平成26年度実績）

編集・発行 堺市健康福祉局健康部こころの健康センター

〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号

堺市立健康福祉プラザ3階

TEL 072-245-9192 FAX 072-241-0005

E-mail kokense@city.sakai.lg.jp